

「脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA」

成功に向けたご協力をお願い

寒気の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

来る2012年1月14～15日、私たちはパシフィコ横浜にて「脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA」という大規模な国際会議を開催します。この世界会議は、「脱原発」に対する国内外の声を集めると共に、世界の叡智を結集し、原子力に頼らない社会をつくるのが現実的に可能であることを明らかにするものです。

海外からの参加者には、欧州議員で緑グループ代表のレベッカ・ハルムス、元ドイツ原子力安全委員長のミヒャエル・ザイラー、エネルギー政策の世界的専門家マイケル・シュナイダーの各氏が含まれます。また、チェルノブイリの原発事故、マーシャル諸島やタヒチの核実験被害者、豪州ウラン鉱山の先住民族代表らが参加し、放射能被害や対策の経験を共有します。中国、韓国、モンゴル、インド、インドネシア、ヨルダンからも参加が決定しました。

日本からは、環境エネルギー政策研究所の飯田哲也、前福島県知事の佐藤栄佐久、広島被爆医師の肥田舜太郎の各氏に加え、野中ともよ、山本太郎、加藤登紀子、宮台真司、上野千鶴子の各氏らが登壇する予定をしています。（プログラム詳細は <http://npfree.jp>）

世界会議ではまた、福島の被災者たちが集う「ふくしまの部屋」や「子ども向けプログラム」など、参加型の多彩な企画を準備しています。福島の約15の市民グループを含む全国約100団体がもちこみ企画を行う予定です。福島から親子がバス数台で参加することも決まりました。

世界会議終了時には、宣言と行動計画を発する予定です。福島の事故の被害者たちの権利のための行動、日本のエネルギー政策見直しのための提言、市民一人ひとりがとることのできる行動を発信する予定です。これらの行動が地域をまたぎ、国境をこえて展開され、世界的に大きなうねりとなることを期待しています。

福島の原発事故は、世界中に大きな影響をもたらしました。今後日本がどう進むかは、世界的な意味を持ちます。こうした中、多くの個人・団体の連携で、この世界会議を大成功させたいと考えております。

開催まで差し迫っておりますが、ご支援ならびにご協力を賜りたく、お願いする次第です。具体的には、以下の事項をご検討いただければ幸いです。

【1】チケット購入、また販売促進にご協力ください。

入場チケットは、ウェブサイト (<http://npfree.jp>) やローソンチケットにて好評販売中です。事前のチケット普及が、会議成功の鍵を握ります。個人としてのご購入はもちろん、団体としてのチケットの預かりと普及をお願いします。また、チケット情報を含むリーフレットの発送・配布の機会がありましたらお知らせください。

【2】賛同金のお願い

賛同人として、この会議を支えてください。

個人1口：2,000円 団体1口：10,000円

振込先：

- ・郵便振替：00130-5-457221 加入者名「脱原発世界会議」
- ・ゆうちょ銀行（他金融機関からのお振込の場合）店名（店番）：〇一九（ゼロイチキュー）店(019) 当座：0457221 口座名義「脱原発世界会議」
- ・みずほ銀行高田馬場支店 普通：2793381 名義「脱原発世界会議」

※ 振込手数料はご負担ください。

※ 振込時の振込依頼書や明細書をもって領収書に代えさせていただきます。

【3】広告出稿のお願い

企業・団体の皆さまにおかれましては、世界会議当日配布予定のプログラムに広告の掲載をご検討ください。A4カラーで40頁程のプログラムを当日の来訪者へと配布致します（10,000部印刷予定）。詳細は別添の資料にございます。（締切：2012年1月5日（木）完全データ入稿）

この世界会議を成功させ、「原発のない社会」を市民の手で成し遂げていきたいと考えています。是非、ご協力をお願いいたします。ご不明な点などございましたら、いつでもご連絡ください。何卒よろしくをお願いいたします。

2011年12月

「脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA」実行委員長



吉岡 達也

事務局 03-3363-7561 office@npfree.jp